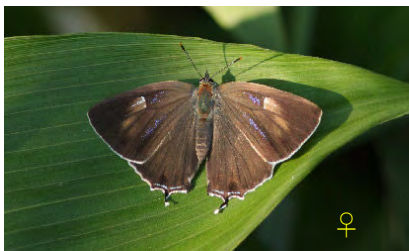


ジョウザンミドリシジミ

歩く私の目の前をキラリとブルーサファイアのような青が見えました。ミドリシジミだとはすぐにわかるのですが、止まるまでを目で追ってゲットしたのが右の映像です。裏翅です。表を見せてくれないかとしばし待ちましたが、止まっているシダの水気を舐めているようで翅をひらいてくれません。辛抱しきれずにちよいと脅したら鮮やかな表のブルーを私の目に残して飛び去りました。2013年07月19日12時頃、澄川基地の苗場の際と記録しておきます。



シジミチョウは名のごとく小型の蝶なので、蝶に興味のない方はまず見えないでしょう。しかし、小さいわりには美しいのです。ミドリシジミ達の雄は拡大しますとあの世界的美蝶のモルフォチョウも顔負けするくらいの美しさだと思います。

愛用の図鑑「札幌の昆虫」によりますと、北海道に棲むミドリシジミは8種類も記載されていて、同定するのはかなりの観察力が必要です。幸いにも判別はウラの模様のちよとした違いで行いますので、接写の映像が鮮明なのでジョウザンミドリシジミと同定いたします。ジョウザンと名につく虫は札幌南部が発見地で、前にもジョウザンコガシラウンカを紹介しました。命名者が定山溪近くで発見したのでしょう。分布は本州は東北から中国地方の日本海側まで、食草はミズナラ、コナラ、

カシワなのでそれらの分布と重なるのでしょう。九州には棲みません。

この日の澄川森林では改修物置の上棟式を行いました。和風建築様式の骨組みです。いつもの石川会員による祝詞に次いで参加者全員が一人ずつ安全を澄川の山ノ神にお願いしました。お神酒と紅白の餅とで神前を飾りましての、衣装こそ作業着ですが、全員神妙に拝礼しました。日本神道八百万の神は有り難いですねー。

